

第3次山形県食育・地産地消推進計画の概要

～ 新型コロナウイルス感染症拡大など社会情勢の変化を踏まえた食育・地産地消の推進 ～

目 標

「やまがたの豊かな食で作る『心』も『体』も健康で持続可能ないきいき社会の実現」

～ いのちの源である「食」を見直し、「食」の視点で人と人、生産から消費をつなぎ、
「食」で人と地域を元気にする ～

施策の柱と主な取組み（計画期間：令和3年度～6年度）

1 県民一人ひとりの健康づくりを支える食育の推進



(1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

- ・妊産婦や乳幼児、児童・生徒の成長過程に応じた食習慣づくり ・学校給食を活用した指導の充実
- ・高校生と食品関連事業者等との連携による食育・地産地消の推進
- ・大学等との連携、若い世代へ向けた「食」関連情報の発信
- ・働き盛り世代に向けた企業等における健康づくりの推進 ・高齢者への低栄養予防

(2) 健康づくりの基本となる食習慣形成の推進

- ・栄養バランスに優れた日本型食生活を実践するための知識の普及、学ぶ機会の提供

(3) 食生活・生活習慣の改善

- ・減塩及び野菜摂取増の促進 ・誰でも簡単に健康な食事の選択ができる食環境の整備促進

2 持続可能で多様性のある社会に向けた食育の推進



(1) 持続可能な生産体系とその消費を意識した食育の推進

- ・持続可能な農業への理解やエシカル消費の促進 ・食品ロス削減の推進

(2) 食の安全・安心に関する情報提供の充実

- ・食の安全・安心に関する情報提供の充実、適正な食品表示の徹底

(3) 子どもの居場所における食育の推進

- ・子ども食堂など子どもの居場所づくりや共食の推進

3 地域の「食」資源の利用促進と食文化の魅力発信



(1) 幼児期からの食農体験や地域の食文化を学ぶ機会づくり

- ・幼児期からの農業体験や郷土料理等を学ぶ体験活動の推進

(2) 「やまがたの食」の魅力発信と販売促進活動の展開

- ・県産食材を利用した料理フェアやマルシェ、販売チャネルでの多角化の促進

(3) 県産農林水産物の利用促進

- ・学校給食での交流給食の促進 ・生産者と食品製造業等とのマッチング支援

(4) 6次産業化に取り組む農林漁業者等との連携

- ・加工品開発や農林漁家レストラン等を核とした地域づくりへの支援

4 食育・地産地消を推進する基盤づくり



(1) 計画づくり、組織づくりの推進

- ・市町村の食育・地産地消推進計画策定促進と食農体験組織の活動支援

(2) 人材の育成と活用

- ・食育活動の実践者の育成・確保

(3) 食育・地産地消の普及啓発

- ・デジタル技術を活用した食育実践の環境づくり
- ・プロスポーツ組織と連携した子ども達の食への興味関心の醸成

